

1)概略

科目名称	地域の課題Ⅰ	単位数 2単位
テーマ	様々な事象が地理的、歴史的、文化的、さらには経済的、科学技術的な文脈に深く埋め込まれ、かつ、今後はグローバルにもつながることが想定される地域の課題発見	
講義内容	担当教員の企業経営や自治体経営に対するコンサルティングの実務経験や、プロジェクト型学習の実践経験を踏まえて、以下の項目についてワークを主体とした学習方法で学ぶ 1. 地域の経済の現状と今後の可能性 2. 事象を読み解く視点と要素 3. 地域の可能性とそこに至るために解決すべき課題 これらを通して、自己と世界の関係性を認識し、「知的活動のためのコア能力」としての①メタ学習能力、②フレームワーク活用能力、③多様性受容能力の三つの強化を図る	
達成目標	①自らの学習プロセスを説明できるようになる ②講義で取り扱う地域の課題を論理的に示すことができる ③異なる分野の考えを取り入れて、より多面的に課題を示せるようになる	

2)講義スケジュール(予定)

	枠組	概要	事前事後の学修
第01回	ガイダンス ～なぜ地域をテーマに学ぶのか～	ガイダンス:この授業の目的と到達目標、内容、学び方、留意事項について理解する	【事前学修】事前に提示する学習フィールドに関するデータを読み込み自分なりに解釈する 【事後学修】授業内で実施する調査(デスクリサーチ、フィールドワーク)の計画を作成する
第02回	フィールド紹介	チームビルディング:協同学習のためのチームをつくりチームリーダーを選出する 講義:事前課題とした資料をもとに、課題抽出に取り組みフィールドとなる地域の概要を学ぶ	【事前学修】事前に提示する学習フィールドに関するデータを読み込み自分なりに解釈する 【事後学修】授業内で実施する調査(デスクリサーチ、フィールドワーク)の計画を作成する
第03回	フィールドの概要理解	講義:フィールドとなる地域の現状や歴史的な文脈を学ぶ ワーク:事前課題と講義をもとに、フィールドとなる地域の現状について、チームごとの視点でまとめる	【事前学修】事前に提示する学習フィールドに関するデータを読み込み自分なりに解釈する 【事後学修】授業内で実施する調査(デスクリサーチ、フィールドワーク)の計画を作成する
第04回	調査と課題抽出の手法	講義:調査手法としてのデスクリサーチとフィールドワークの基本的な手法について学ぶ 講義:課題抽出の方法についての基本的なフレームワークを学ぶ	【事前学修】事前に提示する学習フィールドに関するデータを読み込み自分なりに解釈する 【事後学修】授業内で実施する調査(デスクリサーチ、フィールドワーク)の計画を作成する
第05回	プレ調査	ワーク:対象地域・企業に赴き、フィールドワーク上の留意点を見いだす ワーク:調査計画案を作成し、教員の評価を受ける	【事前学修】事前に提示する学習フィールドに関するデータを読み込み自分なりに解釈する 【事後学修】授業内で実施する調査(デスクリサーチ、フィールドワーク)の計画を修正する
第06回 第07回	調査	ワーク:事前に作成した計画に基づきフィールドワークとデスクリサーチを実施する	【事前学修】授業中に提示するフィールドワーク・現状分析・将来像設定のためのフレームワークに関する資料を読み込み理解する 【事後学修】授業内で実施する調査の結果を踏まえた地域の将来像とそこに至るための課題に関する個人素案を作成・修正する
第08回	現状と将来像	ワーク:調査結果をもとに対象地域の現状をワークシートにまとめ、その内容を吟味する ワーク:調査結果をもとに対象地域の可能性を議論し、目指すべき将来像を描く	【事前学修】授業中に提示するフィールドワーク・現状分析・将来像設定のためのフレームワークに関する資料を読み込み理解する 【事後学修】授業内で実施する調査の結果を踏まえた地域の将来像とそこに至るための課題に関する個人素案を作成・修正する
第09回	将来像の設定とプレゼンテーション	ワーク:対象地域の現状、可能性をプレゼンテーション用シートにまとめる ビジョンプレゼンテーション:自らの視点から見た対象地域の可能性についてプレゼンテーションを行い教員の評価を受ける	【事前学修】授業中に提示するフィールドワーク・現状分析・将来像設定のためのフレームワークに関する資料を読み込み理解する 【事後学修】授業内で実施する調査の結果を踏まえた地域の将来像とそこに至るための課題に関する個人素案を作成・修正する
第10回	プレゼンテーションと課題抽出の手法	ビジョンプレゼンテーション:自らの視点から見た対象地域の可能性についてプレゼンテーションを行い教員の評価を受ける 講義:課題抽出の手法について学ぶ	【事前学修】授業中に提示するフィールドワーク・現状分析・将来像設定のためのフレームワークに関する資料を読み込み理解する 【事後学修】授業内で実施する調査の結果を踏まえた地域の将来像とそこに至るための課題に関する個人素案を作成・修正する
第11回	課題抽出シートの作成	ワーク:自らの視点から見た対象地域の可能性と課題をまとめて視覚化する	【事前学修】授業中に提示する課題抽出のためのフレームワークに関する資料を読み込み理解する 【事後学修】授業内でのフィードバックやふりかえりを踏まえて、課題プレゼンテーションの内容を修正する
第12回	課題抽出シートの修正	ワーク:自らの視点から見た対象地域の可能性と課題に対して教員からフィードバックをうけ、それをもとに適切な論拠を伴うプレゼンテーション資料をまとめる	【事前学修】授業中に提示する課題解決のためのフレームワークに関する資料を読み込み理解する 【事後学修】授業内でのフィードバックやふりかえりを踏まえて、課題プレゼンテーションの内容を修正する
第13回 第14回	課題プレゼンテーション	プレゼンテーション:対象地域の将来像と課題について、適切な論拠を伴うプレゼンテーションを行い、教員からの評価を受ける	【事前学修】授業中に提示する課題解決のためのフレームワークに関する資料を読み込み理解する 【事後学修】授業内でのフィードバックやふりかえりを踏まえて、課題プレゼンテーションの内容を修正する
第15回	学習経験のふりかえり	ワーク:この授業における学習経験を言語化し、今後の学習をどのように改善するかについて議論する	【事前学修】授業中に提示する課題解決のためのフレームワークに関する資料を読み込み理解する 【事後学修】授業内でのフィードバックやふりかえりを踏まえて、課題プレゼンテーションの内容を修正する

3)成績評価等

成績評価方法	調査計画と実施記録 20% ・デスクリサーチの項目は適切であるか(5/20) ・デスクリサーチのスケジュールは適切であるか(5/20) ・フィールドワークの項目は適切であるか(5/20) ・フィールドワークのスケジュールは適切であるか(5/20) ビジョンプレゼンテーション 30% ・フレームワークを活用した論理の構成になっているか(15/30) ・多様性を受け入れ、複雑な問題をより大きな視野で捉えているか(10/30) ・対象者に伝わりやすいプレゼンテーションとなっているか(5/30) 課題プレゼンテーション 30% ・フレームワークを活用した論理の構成になっているか(15/30) ・多様性を受け入れ、複雑な問題をより大きな視野で捉えているか(10/30) ・対象者に伝わりやすいプレゼンテーションとなっているか(5/30) ふりかえりシート 20% ・授業全体をふりかえり自らの学習体験の意味を適切に言語化できているか(10/20) ・多様性を受け入れ、自らの考えに対して批判的な態度をとることができているか(10/20)
学修に必要な準備	普段の学部の授業での学びを表面的に捉えるのではなく、他の事象に適用するという観点で捉える努力をしてください。地域に関するニュース、特集番組などを視聴する、新聞記事を読む、といったことを心がけると講義の内容がより深く理解できます。
関連して受講することが望ましい科目	「地域の課題Ⅱ」「地域課題演習」
テキスト、参考文献	使用しません
履修上の注意	この授業は一方向的な講義で終始するものではありません。他の受講生とのディスカッションや、授業時間外の調査も必要になりますので、その心づもりを持って受講してください。自分なりの考えを論拠/証拠とともに表明できるようになることが必要です。 開講日は2019年8月20・21・22日、場所は東北学院大学土樋キャンパスを予定しています。